

日本公衆衛生看護学会
平成29年度保健師実践力向上セミナー
初めての学会発表 ～実践を研究発表につなげる～

保健師が♥成果伝える10のトク

と き：2017年8月26日（土）10:30～16:00

ところ：CIVI研修センター 新大阪東 E705

岡 本 玲 子

大阪大学大学院・医・保・公衆衛生看護学教室

【私の成果、明日への貢献】

1. 参加者に 返してさらに エンパワメント
2. ええんなら やってみよかの 動機づけ
3. 他地域に トランスレーション 波及・普及

【知れ渡る、役立つ保健師ここに在り】

4. 自治体内に拡がれば、一躍花形保健部門
5. 日本中に拡がれば、首長・関係諸者も鼻高々
6. 世界中に拡がれば、職能の基盤固めの推進に

【成果公表は、保健師の コンピテンシー開発の必須通過点】

7. 研究能力
8. 実践能力
9. 省察的実践力

【なんてったって♡ココがコア】

10. おったまげ

保健師の〇〇と〇〇

泉のごとく。

コンピテンシーとは

- 単に知識や技術があるだけでなく、卓越した業績を生む素地となる意識、姿勢、考え方、行動様式を含む能力
- 成果を生む活動に欠かせない能力



下線部は
保健師活動、公衆衛生看護活動の原則に密接に関わっている

保健師として身につけたい能力(職位別)

厚生労働省保健指導室ご提供スライド

全体(行政)(n=18799)



企画立案能力

所長もしくは
それと同等(n=31)



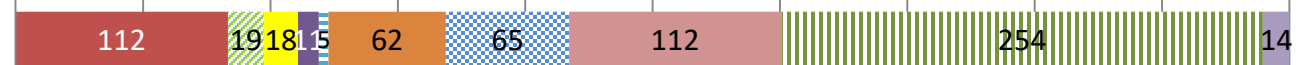
情報収集・調査研究能力

部長もしくは
それと同等(n=47)



保健事業運営能力

課長もしくは
それと同等(n=672)



個人・家族支援能力

課長補佐もしくは
それと同等(n=1562)



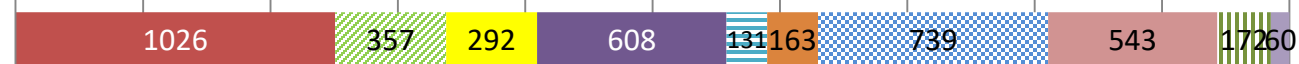
集団支援能力

係長もしくは
それと同等(n=3784)



健康危機管理能力

主任もしくは
それと同等(n=4091)



連携・調整・社会資源開発能力

係員(スタッフ)
(n=7945)



事業評価能力

その他(n=667)



人材育成能力

その他

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【私の成果、明日への貢献】

1. 参加者に 返してさらに

エンパワメント

見せる公衆衛生看護技術「活動の成果を見せる」

<http://www.phnspace.umin.jp/tech.html>

2. ええんなら やってみよかの 動機づけ

3. 他地域に トランスレーション 波及・普及

活動の成果を見せる 事例の概況と保健師の思い V市X地区の住民組織による子育てサロン活動の場合



地区組織
子育てサロン担当者

4年間活動してきたけれど、最近はスタッフも活気がなくしんどいし自分もやめたいと思うことがある…

2015年

来年は
5周年。
よい機会！

住民自身が
活動の意義を実感できる
ように、活動を評価
する支援をしよう！



野の花保健師

ステップ 5 評価の実施 (データ収集・整理)



- それぞれが担当した評価項目について、データ収集・整理を行う。
- 調査の場合は、質問紙作成や予備調査、本調査、データの入力、集計などを行う。
- 質的データの場合は、評価の目的に応じて、記録の内容を表に整理、要点を読み取るなどを行う。

ステップ 6 結果のまとめ・解釈

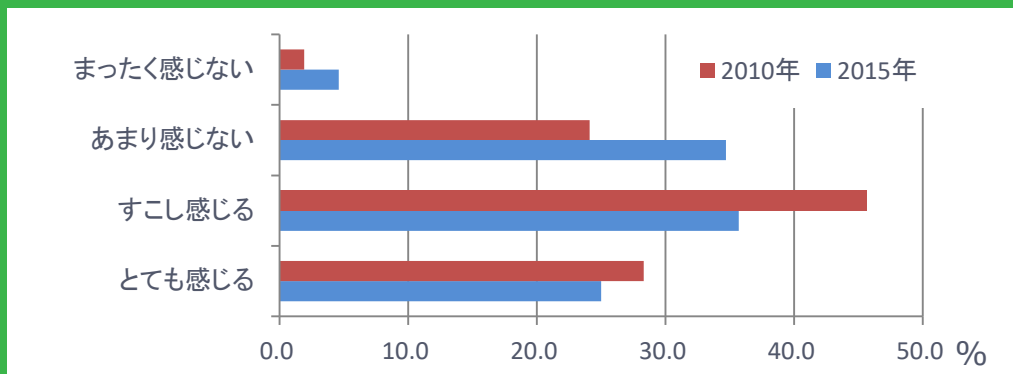
- 評価の目的に沿って、整理したデータの図表化
- 直接的な成果（アウトカム）は何か、関連する要因は何か、などが分かる内容でまとめる。



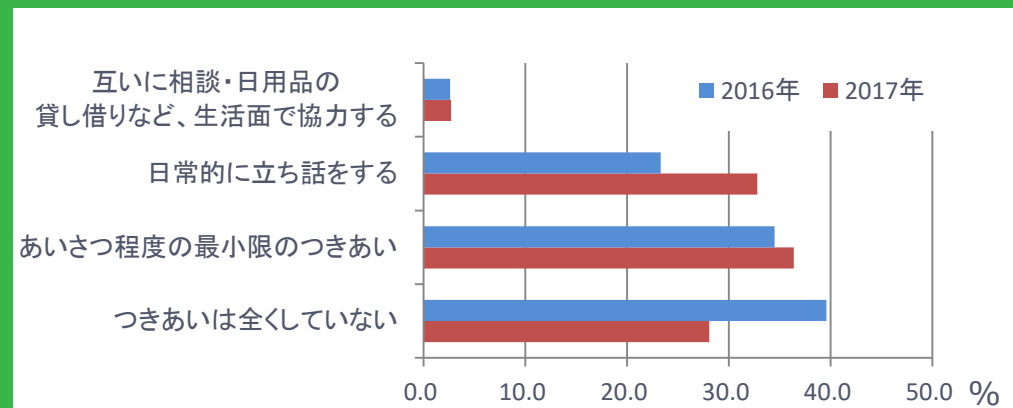
ステップ7 公表の準備・公表 アウトカムを見せる

アウトカム評価

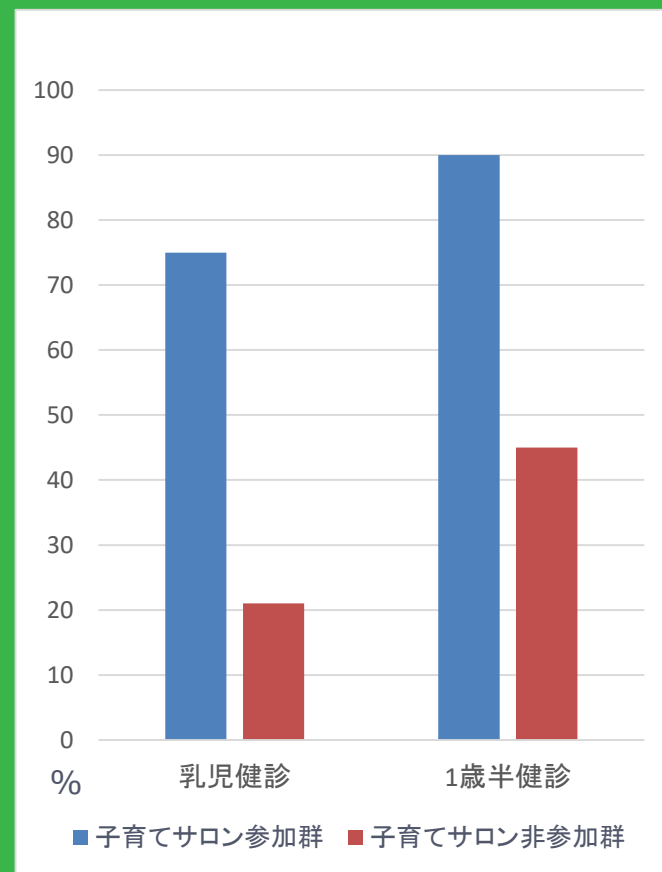
目的「地域で親子が集える場を持ち子育ての孤立化を防ぐ」の評価
子育てに孤立する親子の減少
(子育てに孤立感を感じているか)



目標(2)「参加者と地域住民のつながりが強くなる」の評価
近所つきあいの程度



目標(1)「参加者同士が交流し育児仲間ができる」の評価
子育てサロン参加有無別
育児仲間がいる人の割合

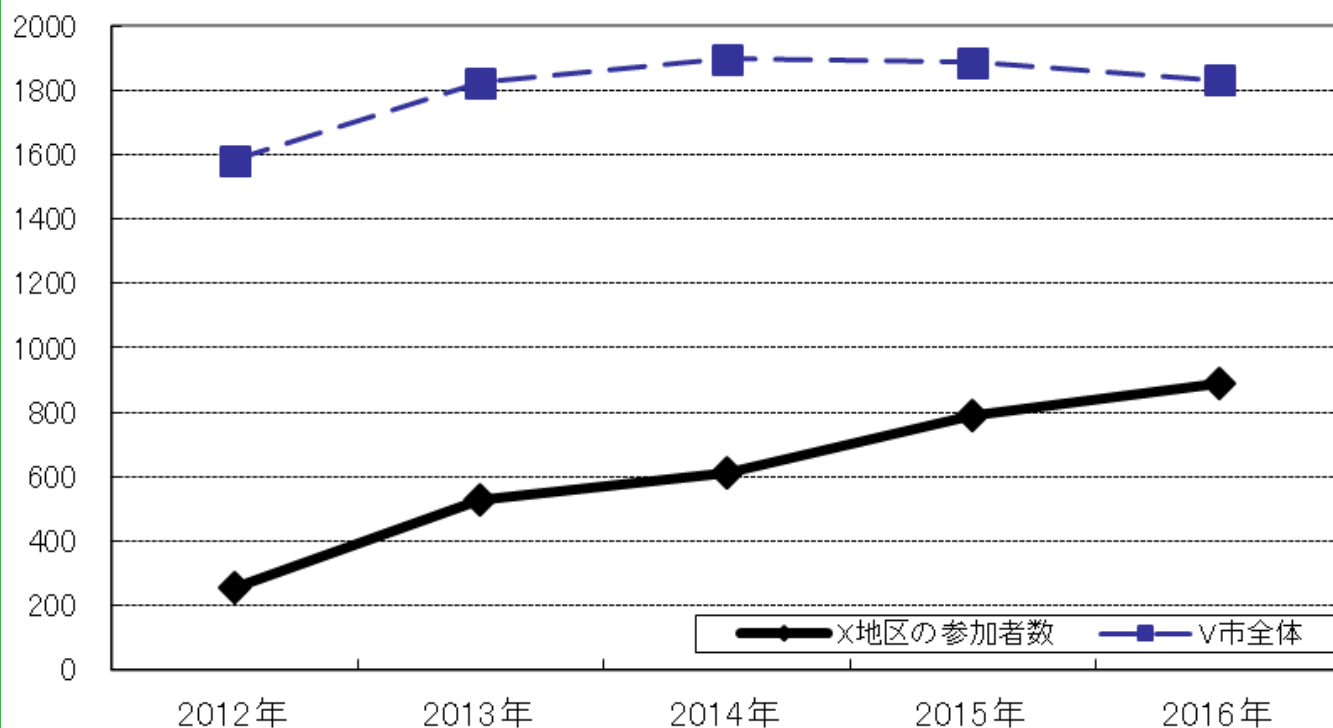


ステップ7 公表の準備・公表 アウトプットを見せる

アウトプット評価（事業実施量）

子育てサロン参加者数（年間延べ人数）の推移

X地区：月2回（第1・第3木曜日）年間計24回

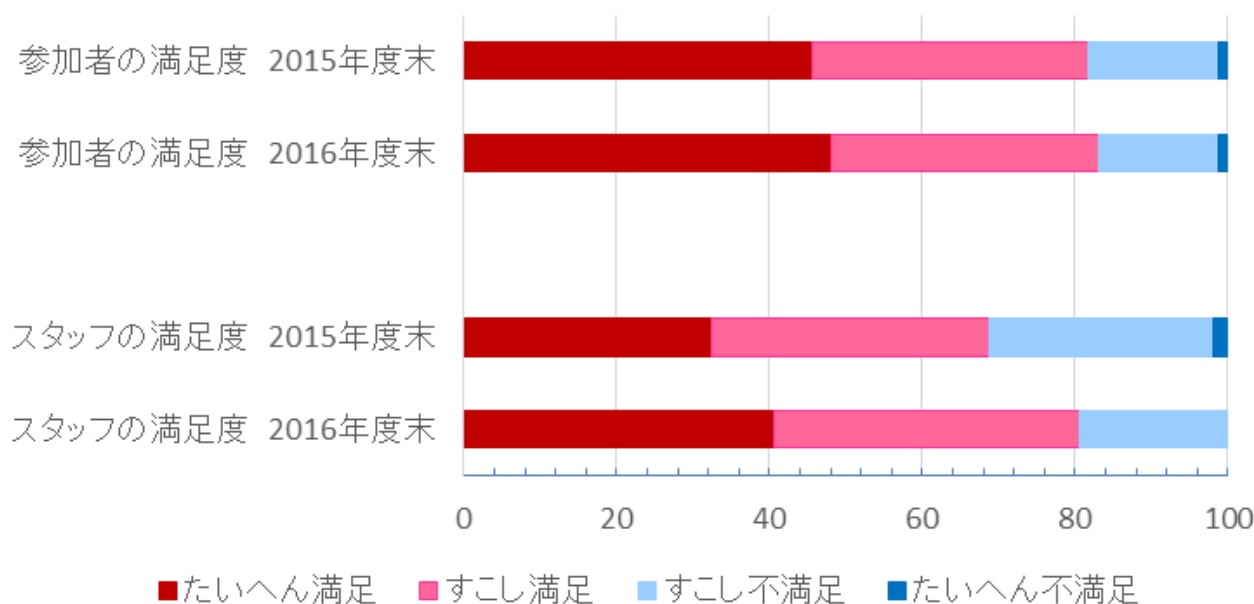


参加者名簿の集計より（地区組織担当分）：X地区の子育てサロン参加者の延べ人数は徐々に増えており、当初の4倍になっていた。V市全体では参加者数が停滞していることに比べれば、本サロンはV市における子育ての社会資源として一定の役割果たしていると考えられる。参加者の増加は良い成果であるが、スタッフが一人ひとりに十分関われないことに負担感を感じ、活動意欲に影響していたと思われる。

ステップ7 公表の準備・公表 プロセスを見せる

プロセス評価

子育てサロン参加者とスタッフの満足度



満足度・活動記録より：活動がマンネリ化しているように感じ、担当者の意欲が低下していた昨年度に比べ、5周年の取り組みを行った今年度のスタッフの満足度は高くなっていました。参加者の満足度はもともと高いが、今年度は「たいへん満足」の割合が増した。毎回試行錯誤であったが、プログラムの内容が妥当であったことの証しではと考える。

活動記録より（地区組織担当分）：活動記録の量は初年度が最も多かった。各回担当者は、その日の工夫や困ったことへの対処を丁寧に書いており、皆が参考にして、何度も読まれたと思われる頁もある。学びや成長に関する記述は少なかったが、今後そのような内容を積極的に書くことでお互いに子育て支援者としてもっと育ち合え、活動意欲が維持できるのではと思う。

ステップ7 公表の準備・公表 構造を見せる

構 造 評 価 (地区組織担当分)

活動の成果、意義・改善点

活動に費やした人員・予算の適切性

- ① 人員：担当スタッフ実数10人、各回5人以上で運営予定。年間24回で今年度動員数は延べ140人・平均5.8人。過去4年間は平均6.0人、5.8人、5.0人、4.2人と減少していた。
- ② 手遊び等の外部協力者依頼年間3回は5年間変化なし。
- ③ 予算：市からの補助金（年間5万円）あり。参加費徴収はないものの、外部協力者への寸志や、おもちゃの修理・追加購入、その他必要なものはそれで購入できている。

5周年記念にあたり、活動を評価することになり、スタッフの動員数減少についても算出し、スタッフ皆で共有したことによって、今年度は初心に戻って参加しようと思った者が増えた。毎年まとめていく必要性を理解できた。

活動場所の適切性

- ① 地区の公民館（無料・参加者増加に伴い一番大きい部屋を借用）。職員の目配りもあり、広さ・安全性に問題なし。
- ② 地区の中心部にありアクセス良好。

活動場所には恵まれており、今後も継続して使用する。
今後、参加者数によっては、手狭になる可能性がある。

活動の運営体制・連携体制の適切性

- ① 各回シフトを組むなどはせずに、出れる者が2日月前までに担当表に名前を書く方式で運営。企画も話し合って決定している。
- ② V市健康推進課の保健師や栄養士、社会福祉協議会と連携し、何かあれば相談している。

担当者の自主的な参加を目指しているので、運営体制はこのままにして、活気を維持・増進できるように定期的な評価や話し合いを大事にしていきたい。

活動の成果を見せた 結果



【私の成果、明日への貢献】

1. 参加者に 返してさらに エンパワメント

2. ええんなら やってみよかの

動機づけ

3. 他地域に トランスレーション 波及・普及

【私の成果、明日への貢献】

1. 参加者に 返してさらに エンパワメント
2. ええんなら やってみよかの 動機づけ
3. 他地域に トランスレーション
波及・普及

岡山県
健康寿命延伸セカンドショット事業

サンサン
晴れの国 3 3 プログラム
成果発表会



2016年2月4日（木） 13:00-16:00

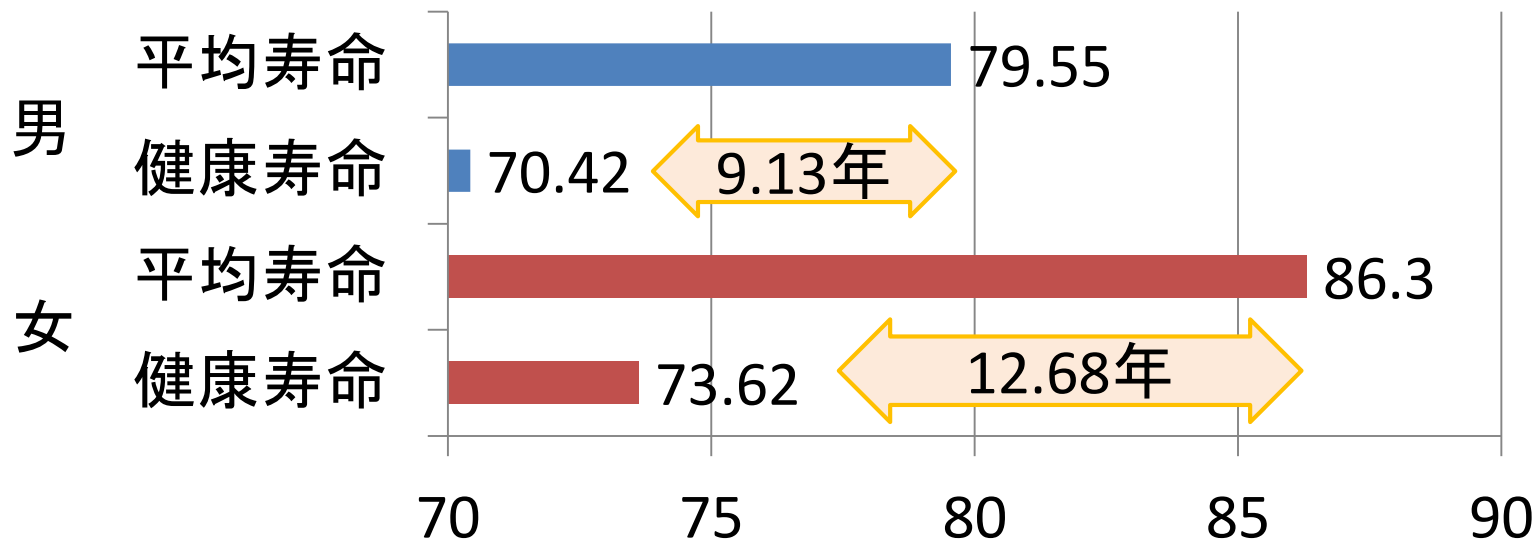
岡山大学 Junko Fukutake Hall（Jホール）

講師＆コーディネーター 岡本 玲子
（岡山大学大学院保健学研究科）

健康寿命の延伸に向けて



平均寿命と健康寿命の差（2010年）

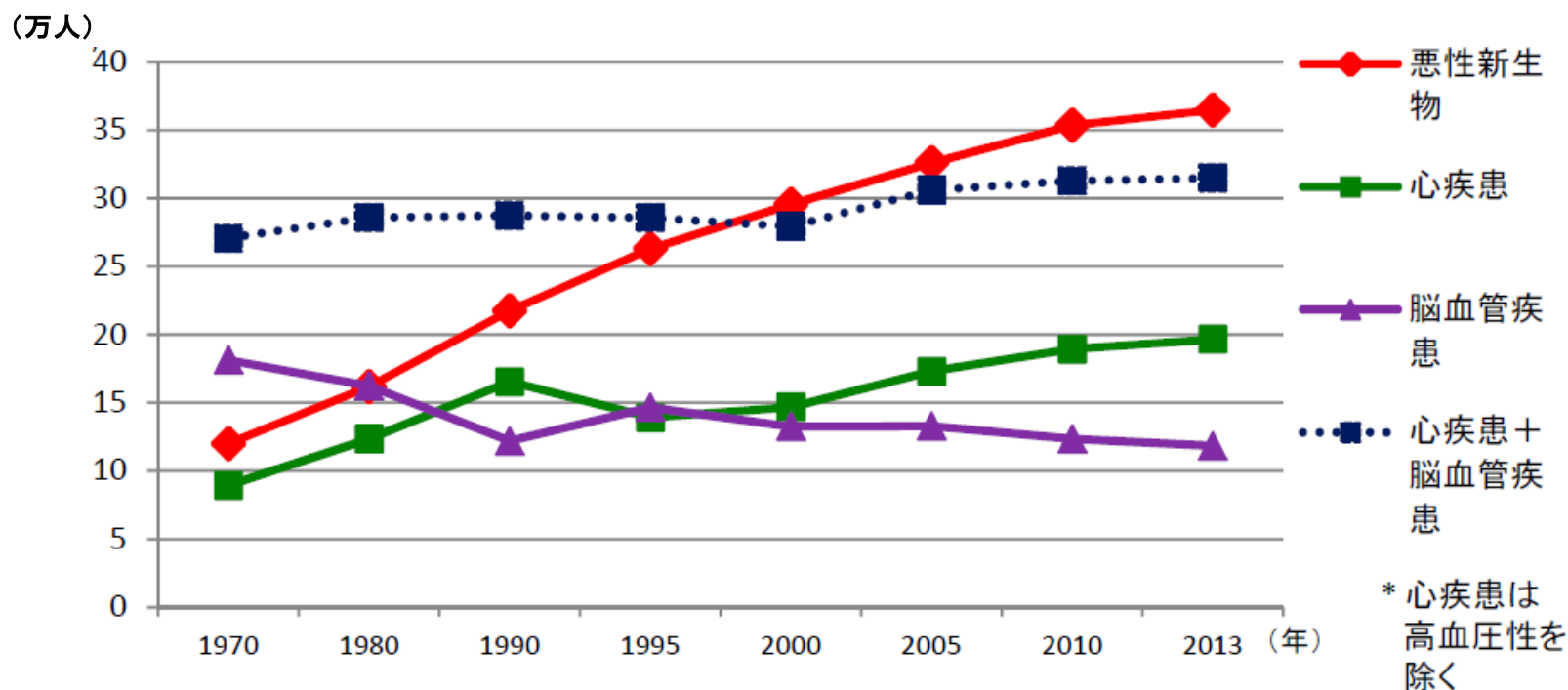


資料：平均寿命は、厚生労働省大臣官房統計情報部「完全生命表」。健康寿命は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」

健康をめぐる現状

- **平均寿命と健康寿命（※）の差は男性で約9年、女性で約13年。**
（※）健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間
- 平均寿命と健康寿命の差が開くと、医療費・介護費の負担が大きくなる。高齢化に伴い今後更なる医療費等の増大が予想される中、個人の生活や幸せのためにも、**健康寿命を延伸させるとともに平均寿命との差を縮めることが重要。**

主な死因別に見た死亡者数の推移



資料:厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」(2013年は概数)より厚生労働省政策評価官室作成

死因

- 死因として最多はがんで、第2位が心疾患。
- 生活習慣病起因の死因は全体の約6割、国民医療費の約3割を占める。
- 生活習慣病予防が最重要課題**

サンサン
晴れの国 3 3 プログラムの
エビデンス

効果検証されたプログラムを移転



岡山県に
移転

2014年度

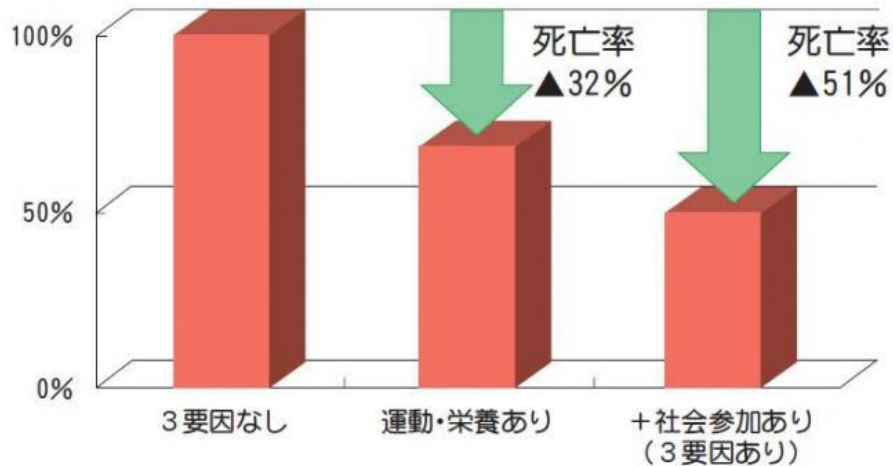


静岡県が
開発し
効果検証

2012年度

3・3プログラムのエビデンス

運動・栄養・社会参加の有無と死亡率



* 性別、年齢、体格指数、喫煙状況で調整したハザード比
静岡県高齢者コホート調査研究による

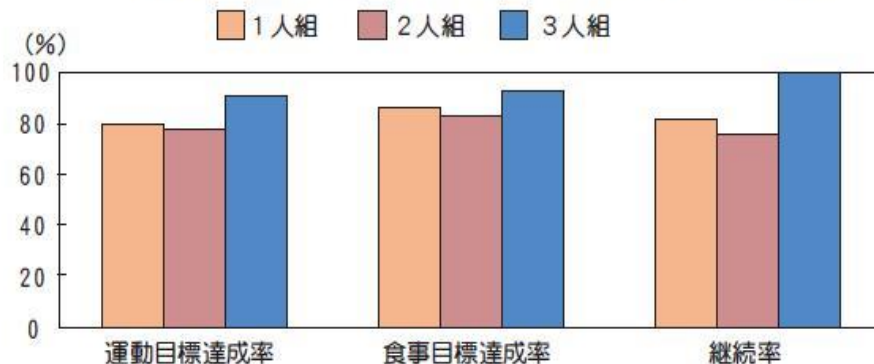
「3分野」の行動目標に取り組む方が健康に

1 運動

2 食事

3 社会参加

3群間による各データの変化量の比較



「3人」で取り組む方が行動変容に効く

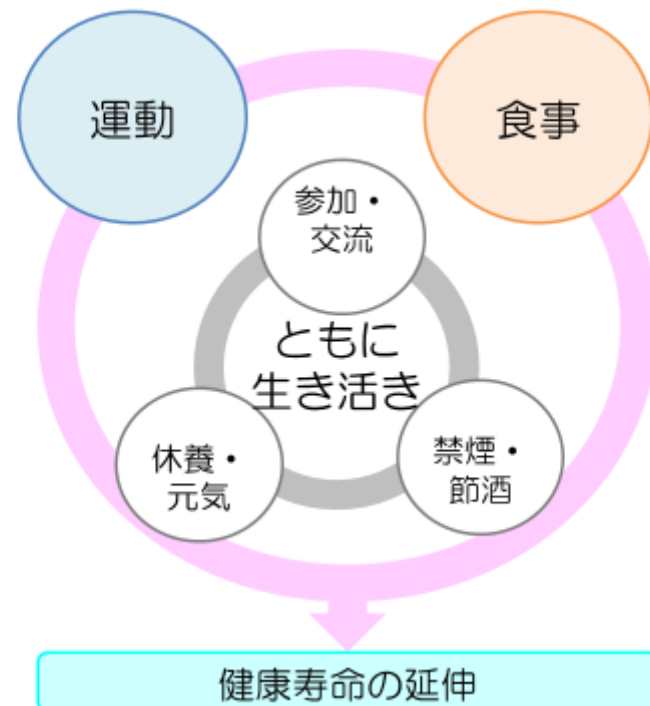
サンサン 3・3 プログラムの概要

目的 健康寿命延伸

サンサン 3・3 のコンセプト

● サンサンと太陽が注ぐ岡山で

- 3 人 1 組で
- 3 か月間
- 3 つの分野の目標と
- 3 人で共通の目標を立てて
楽しみながら
主体的に健康づくり！



↑ 岡山の実態から
「社会参加」を
さらに3分類

- ・ ストレス解消ができていない人が多い
- ・ 飲酒量が増加

2015年度 評価指標

1. 生活習慣

- ・ 運動分野、食事分野、ともに生き生き分野
- ・ 歩数
- ・ 主食・主菜・副菜が1日2食以上の程度
- ・ 睡眠による休養の程度

2. 生活習慣改善の重要性・自信の認識

3. 職業性ストレス（ストレス反応・サポート）

4. 体力測定（筋力、バランス力、柔軟性）

5. 主観的健康観

6. ソーシャルキャピタル尺度

7. 主観的幸福感

など

3 団体の評価結果の概要

瀬戸内市 (n=49)

対象：愛育委員

平均年齢：58.3歳、全員女性

ミニテニス (n=35)

対象：ミニテニス参加者

平均年齢：60.8歳（20代～70代）、男女半々

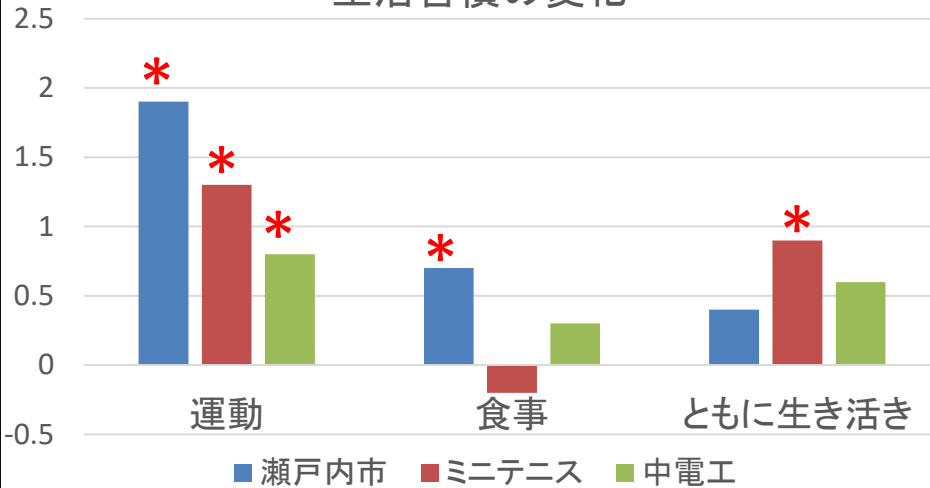
中電工 (n=51)

対象：従業員

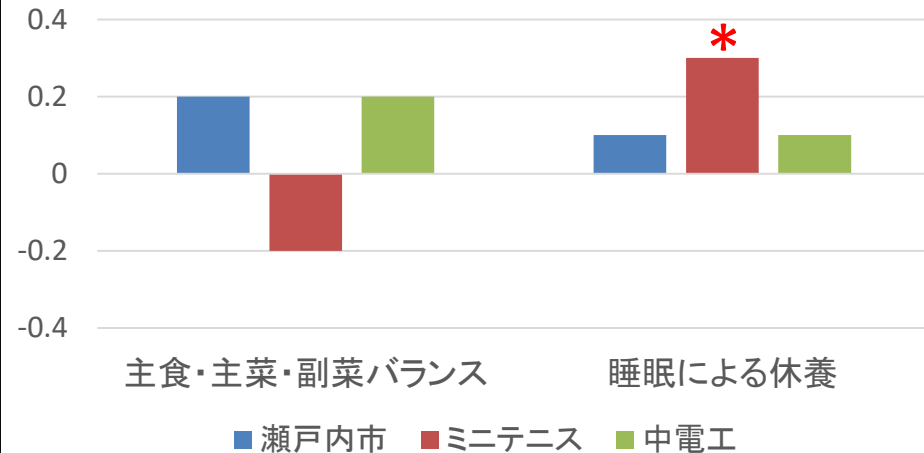
平均年齢：40.6歳、男性が8割

プログラム前後の生活習慣の変化

生活習慣の変化



食事バランス・休養の変化

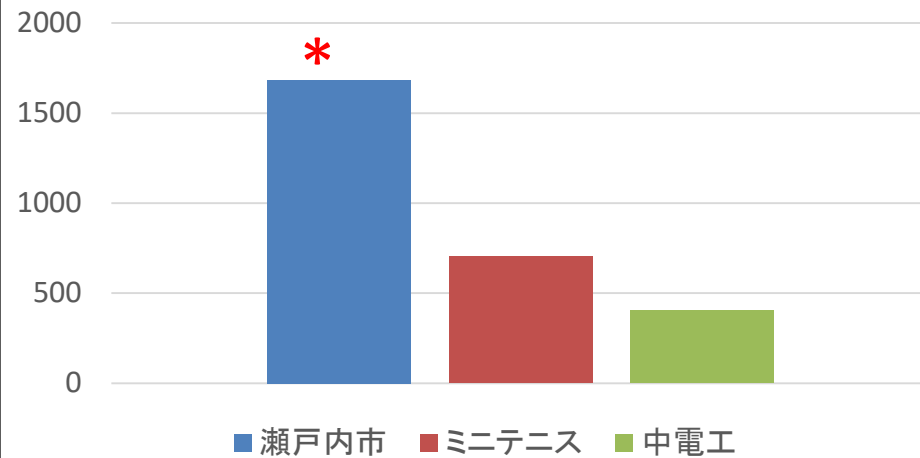


- 運動分野では、3団体ともに平均値が有意に上昇し、運動習慣の改善がみられた
- また、瀬戸内市では食習慣、ミニテニスでは節酒・生活リズム・交流習慣の改善がみられた

- 主職・主菜・副菜が1日2食以上の頻度は、大きな変化がみられなかった
- 睡眠による休養の程度は、ミニテニスでは有意に上昇し、改善がみられた

プログラム前後の生活習慣の変化

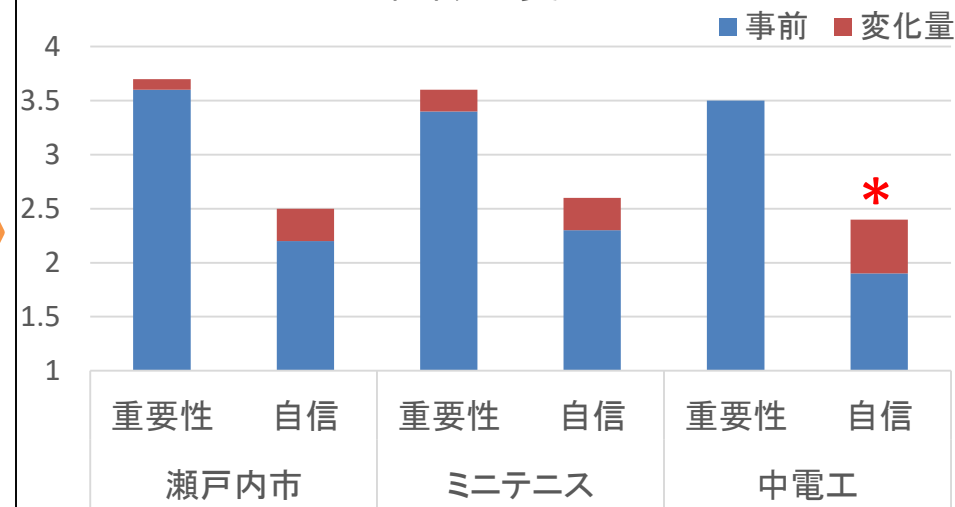
歩数の変化



- 歩数は、個人差が大きかったものの3団体共に増加し、瀬戸内市では有意に増加した
- 運動習慣は、できるところから実践していることがうかがえた

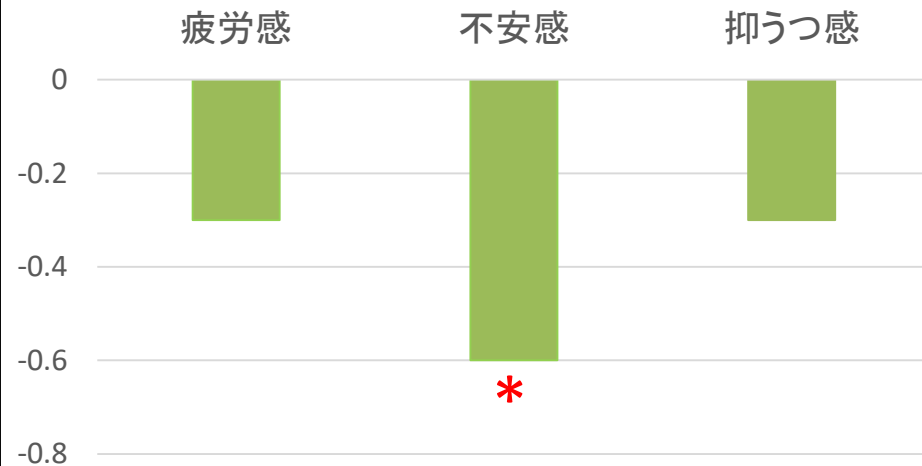
- 重要性の認識では、3団体ともに事前から高く、大きな変化はなかった
- 一方、自信の認識では、事前は低く、実施後は上昇し、中電工は有意に上昇した
- 取組むことで、自信を得ることができたと考えら得る

認識の変化



プログラム前後の職業的ストレスの変化

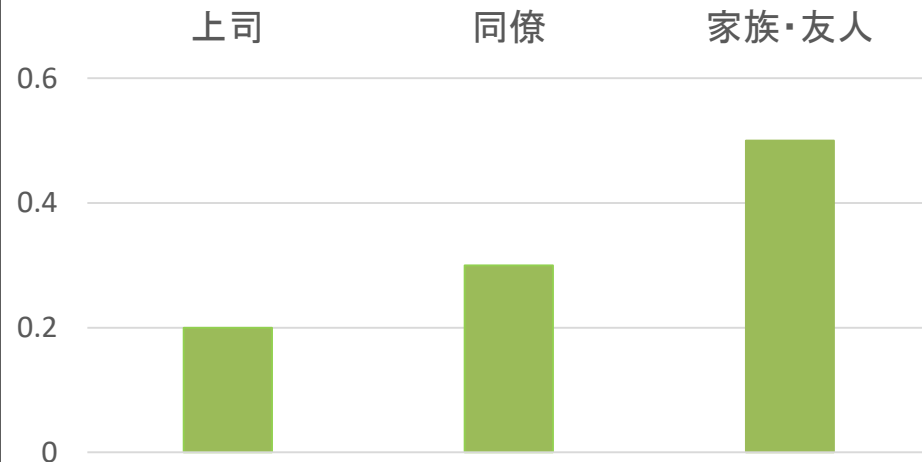
ストレス反応の変化



- 疲労感、不安感、抑うつ感ともに、実施前後で平均値が低下し、不安感については有意に低下した
- 3人で共通の目標に取り組んだことが影響した可能性がある

- サポート状況については上司、同僚、家族・友人ともに平均値が上昇した
- 取り組むことによって、コミュニケーションが豊かになった可能性がある

サポートの変化



終了後の感想から

年代	性別	よかった点	効果
40	女	歩数や体重を記入することにより、自分で気にかけるようになった。	エレベーターを使わずに階段を使ったり、近くの買い物は車を使わず、自転車で行ったり、体を動かそうという気持ちが強くなった。
30	女	目標を立てて行うこと。日々の生活でも目標を立てればメリハリがつくと勉強になりました。	励ましあうことの大切さを考えさせられました。
40	女	体を動かそう、バランスの良い食事をしようと思うようになり、生活にハリが出てきた。	近くても車移動をしていたのが歩くようになった。
20	男	3人1組という点が良かった。	お互い声をかけることにより、健康に対する意識が向上した。
40	男	今までは、体重ぐらいしか気をつけていませんでしたが、食事や運動についても気を使うようになりました。	11月からジムに行きだして体の状態が数値化されるのでさらに健康に注意するようになった。

【知れ渡る、役立つ保健師ここに在り】

4. 自治体内に拡がれば、

一躍花形保健部門

成果みた
住民はみな
大満足！



保健師さん
すごいです～



活動が
継続・拡大
していくよ！

保健師の
存在価値が
高まります！

【知れ渡る、役立つ保健師ここに在り】

5. 日本中に広がれば、

首長・関係諸者も鼻高々

保健師の
評価が予算↑
や人員↑に！

若手でも
講師に呼ばれ
て全国へ！

増える
増えるよ
視察団！

来るわ
来るわ
メディア
取材！

【知れ渡る、役立つ保健師ここに在り】

6. 世界中に広がれば、

職能の基盤固めの推進に

日本では
もちろん
公衆衛生看護
学会

公衆衛生学会
もおっきくて
素敵です

次は
GNPHNと
ICCHNR
に飛び立つ
よ！

Are
you
ready ?





国際保健師ネットワーク学会

5th International Conference
Global Network of
Public Health Nurses
5th-7th March 2019
Nairobi, Kenya
email: conference@gnphn.com

さあGNPHN(`ー´)ノ
みなで行くよ☎ ケニアへ！

【成果公表は、保健師の コンピテンシー開発の必須通過点】

7. 研究能力

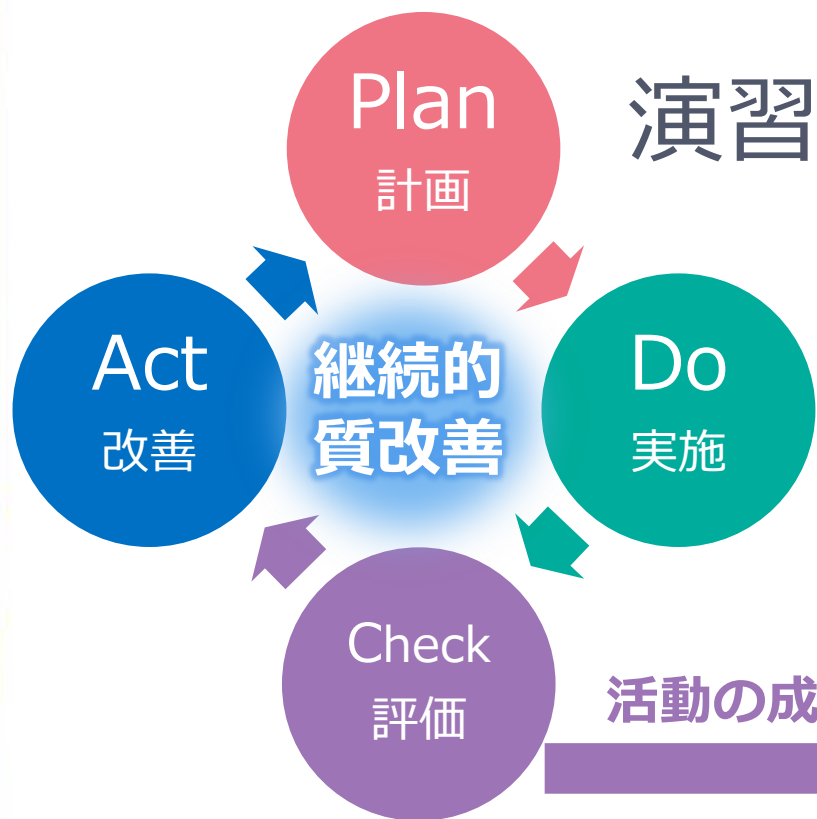
見せる公衆衛生看護技術「活動の成果を見せる」

<http://www.phnspace.umin.jp/tech.html>

8. 実践能力

9. 省察の実践力

PDCAサイクル



演習 事例で学ぼう！

活動の成果を見せる技術

健康課題の
解決・改善

住民主体の活動の成果を住民に
見せる
(住民自身が見出せるように支援する)

活動の成果を見せる技術

1. 予算を投じた事業の成果を 意思決定者・関係者に見せる

事業が地域の健康課題の解決・改善に
効果があったかどうかについて
説明責任を果たすこと

成果を見せなければ・・・

- ➡予算を投じた意味がなかったと
意志決定者や関係者が判断
- ➡予算削減や事業の廃止、
事業への協力打ち切りへ

2. 住民主体の活動の成果を 住民に見せる (住民自身が見出せるよう支援する)

住民主体の活動が地域の健康増進に
どのように寄与しているかについて
説明責任を果たすこと

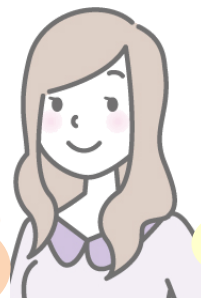
成果を見せなければ・・・

- ➡住民が活動の意義を見出せず、
負担感がつる
- ➡やりがいや意欲が低下して
活動の衰退へ

技術のコアは活動の評価

事業予算の継続・
拡大の意思決定へ

保健師の存在
価値を見せるこ
とにもなる！



活動継続・拡大
の意思決定へ

住民の満足
感・自己効力
感アップへ

活動の成果を見せる技術【要素】



活動の成果を見せる技術【評価して見せる内容】

※ここでは、評価の枠組みを、ドナベディアン¹の医療の質評価モデル（構造・プロセス・アウトカム、Avedis Donabedian's Model of Assessing Quality of Care 1980）とアウトプットとした。

活動目的の達成度

（目標の達成度を含む場合もあり）

アウトカムを見せる

Good

事業・活動の実施量

例）実施回数、参加者数、参加率

アウトプットを
見せる

Done

プロセスを見せる

Doing

活動実施過程・活動状況
例）経過記録、実施内容の妥当性の検討、参加者の満足度

ストラクチャー
構造を見せる

Can

活動の基盤となる仕組みや体制
例）人員、予算、組織、運営管理体制

活動の成果を見せる技術 【要素を網羅した展開過程】

- ステップ 1 ワーキングチームを作る
- ステップ 2 評価の目的を明確にする
(何のために評価をするのか?)
- ステップ 3 活動の目的・目標を再確認する
(どのような成果を求めているのか?)
- ステップ 4 評価計画の立案
(評価方法・評価指標・実施者・時期)
- ステップ 5 評価の実施 (データ収集・整理)
- ステップ 6 結果のまとめ・解釈
- ステップ 7 公表の準備・公表

PDCAサイクル



演習

事例で学ぼう！

活動の成果を見せる技術

健康課題の
解決・改善

住民主体の活動の成果を住民に見せる
(住民自身が見出せるように支援する)

活動の成果を見せる アウトカム評価のデザイン

評価デザインの種類		介入前	介入後	野の花保健師が 思いを巡らせたこと	評価 時期 イメージ
デザイン 1		×	○	活動を行った後にデータを収集して評価する ●事後のみなら今年度末にできるかも	2015年 2月
デザイン 2		○	○	活動の前(ベースライン)と 活動の後(結果)にデータを収集して評価する ●来年度の始めと終わりでできるかも	2016年 5月と 2017年 2月
デザイン 3	介入群	○	○	デザイン 2 に比較できる対照群を設定して 評価する ●大学に相談、協同が必要。今後の課題に	?
	対照群	○	○		

○はデータ収集を示す（測定：量的データ）

ステップ1 ワーキングチームを作る



この事例の場合、どんなメンバーに入ってもらったらよいのでしょうか？



野の花保健師の場合は…

地区組織の
子育てサロンスタッフ

野の花保健師



公民館非常勤
元保育士

地区組織の
子育てサロン担当者

先輩保健師

ステップ2 評価の目的を明確にする

(何のために評価をするのか?)



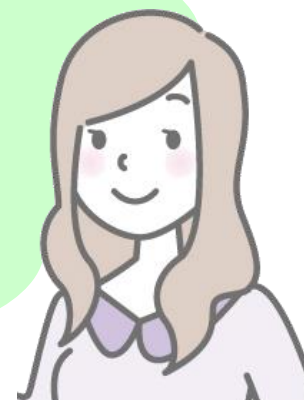
この事例の場合、評価の目的は？
何のために評価するのでしょうか？



このワーキングチームでは…

評価の目的

子育てサロンの成果を 確認し、
活動を継続する意義と改善点を
明確にしよう！



ステップ3 活動の目的・目標を再確認する (どのような成果を求めているのか?)



目的 地域で親子が集える場を持ち
子育ての孤立化を防ぐ



目標 子育てサロンに参加する
ことにより、

(1)参加者同士が交流し、
育児仲間ができる。

(2)参加者と地域住民の
つながりが強くなる。



ステップ4 評価計画の立案 (評価方法・評価指標・実施者・時期)



どんな評価方法・評価指標を用いますか？



本事例では・・・

	評価項目	評価方法・評価指標	実施者・時期
アウトカム	①目的：子育てに孤立する親子の減少 ②目標(1)：子育てサロンに参加する親に育児仲間がいる割合 ③目標(2)：子育てサロン参加者と地域住民とのつながりが強くなった割合	アンケート：子育てに対する親の孤立感の程度 問診データ：子育てサロン参加有無別育児仲間がいる人の割合 アンケート：子育てサロン参加前後の近所づきあいの程度の変化	保健師 ①は市の統計(2010・2015) ②2015年度末 ③2016年始めと年度末
アウトプット	④事業実施量	実施回数、参加者数	
プロセス	⑤活動の経過 ⑥プログラムの妥当性 ⑦活動参加の満足感	活動記録：年度や季節で工夫点・学びや成長・困った点を質的に分析 活動記録：各回の内容・方法(社会資源活用含む)と参加者のニーズの整合性(参加者の反応等)を質的に分析 アンケート：参加者の満足度 アンケート：スタッフの満足度	④⑤⑥ 地区組織 2016年度 ⑦保健師 2015年度 2016年度
構造	⑧活動に費やした人員、予算の適切性 ⑨活動場所の適切性 ⑩活動の運営体制、連携体制の適切性	実人数・延べ人数、収支の状況 施設・設備の状況(広さ,安全性,アクセス等) 運営状況、関係機関との連携状況	主に 地区組織2016年度

ステップ4 評価計画の立案 (アウトカム評価)



この事例のアウトカム評価の計画において、目標(1)、目標(2)の評価デザインはどのように組めますか？



この事例では…

目標(1) 評価デザイン 1 に比較群を置いたデザイン
子育てサロン参加有無別
サロン以外での育児仲間との交流回数

目標(2) 評価デザイン 2
子育てサロン参加前後の近所づきあいの
程度の変化

2016年度乳幼児健診受診者の問診票
ここ半年で子育てサロンに参加した回数
(参加群:1回以上 非参加群:0回)

子育てサロン
参加群

子育てサロン
非参加群

2016年度 育児仲間の有無の問いに
「いる」と答えた人の割合

2016年1-5月
子育てサロン新規参加者で
調査協力に承諾した者

ベースライン調査
初回参加時の
近所づきあいの程度

子育てサロン
(介入)

2017年2月年度末調査
約1年後の
近所づきあいの程度



【成果公表は、保健師の コンピテンシー開発の必須通過点】

7. 研究能力

8. 実践能力

9. 省察的实践力

健康課題
を持つ
<人間>

相互
作用

人間に
作用する
<環境>

<健康>
well-being

3. 住民の力量を高める能力

- 1) 力量形成を要する対象を把握し健康増進・改善を支援する
- 2) 住民・住民組織の主体的な地域づくり・健康づくりを推進する

1. 住民の健康・幸福の公平を護る能力

- 1) サービスへのアクセスと健康の公平性を追求する
- 2) 地域全体のサービスの質を監視する
- 3) 健康危機管理を行う

2. 政策や社会資源を創出する能力

- 1) 創出の必要性を把握し実現に向けて企画・展開する
- 2) 創出の実現可能性を推進する

4. 活動の必要性和成果を見せる能力

- 1) 活動の必要性を根拠に基づいて見せ、説明する
- 2) 活動の成果を評価に基づいて見せ、説明する

5. 専門性を確立・開発する能力

- 1) 専門性を定着し社会貢献を確実にする
- 2) 自分の専門能力を開拓・成長する

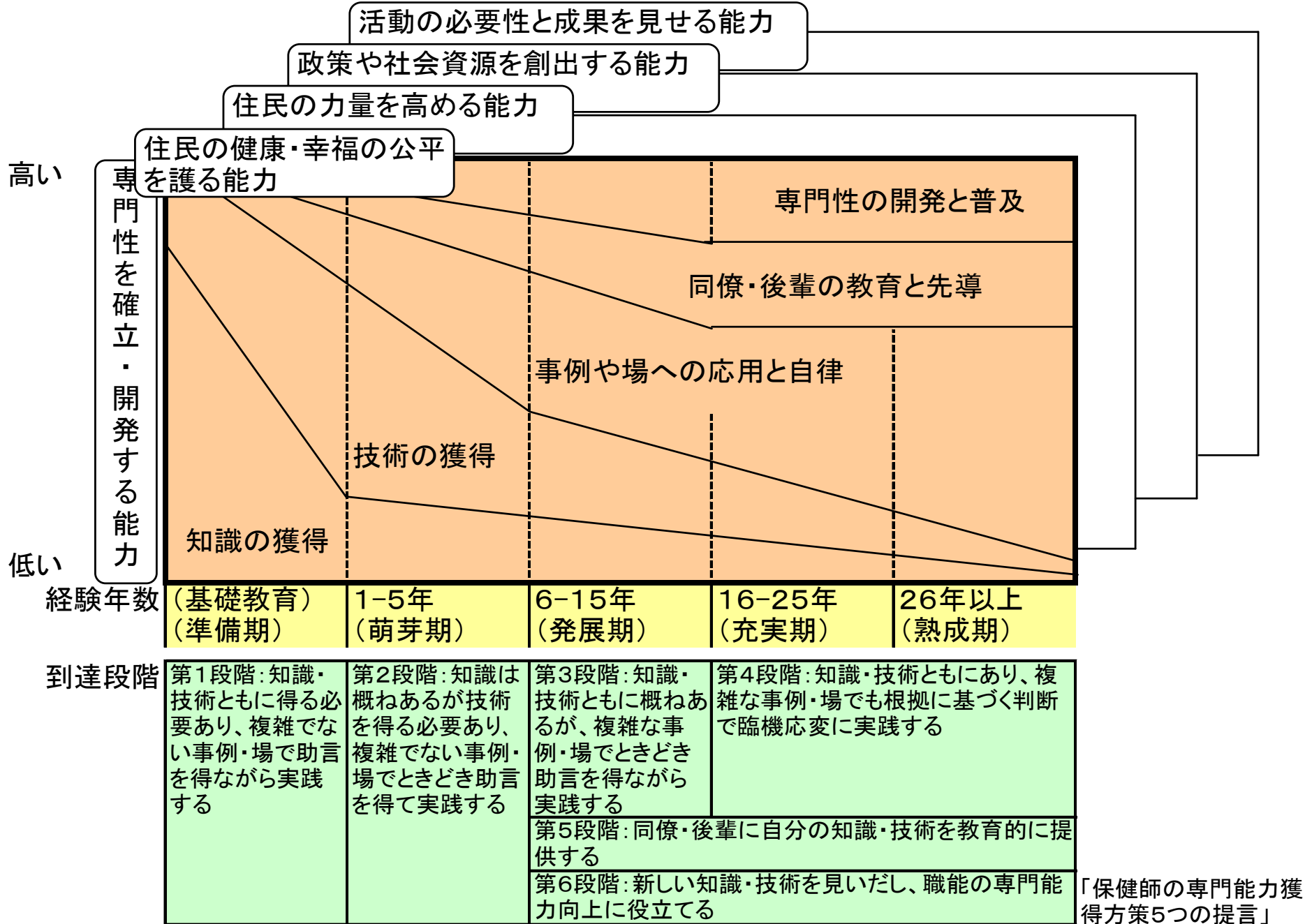


図 専門能力(コンピテンシー)の経験年数別到達段階のイメージ

専門能力の高さに特に関連する要素は？

どれかな？

保健師教育機関(養成校・短大、大学)

経験年数

現役職(6段階)

所属(都道府県、政令市等、市町村)

保健師以外の資格数

現在の職種以外の経験年数

学会発表回数

定期購読冊数

自己投資額

勉強会参加回数

使命感

チャレンジ精神

柔軟性

人間的魅力

平静で誠実な態度

全体・包括・鳥瞰的視野

時代を読む感性

批判を受けとめ改善

コミュニケーション・人間関係形成

無力・限界の認識

目的に向かう過程を重視

【成果公表は、保健師の コンピテンシー開発の必須通過点】

7. 研究能力

8. 実践能力

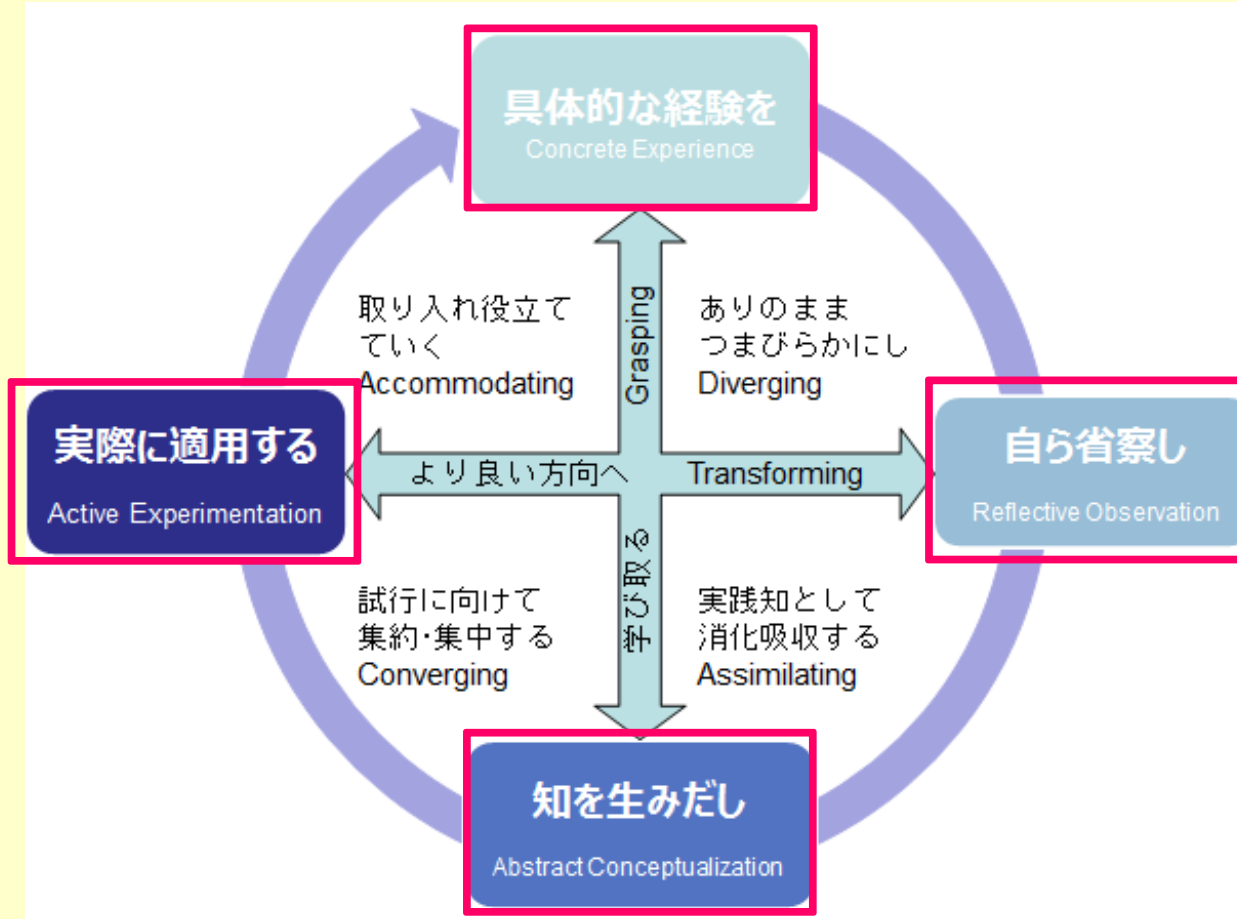
9. 省察的実践力

PDCAサイクル



「成解」を導く未来志向の行為 省察的实践

継続的
質改善



省察：自分に問いかけ記述する

1. 表現描写：何が起こったのか？
2. 感情：何を考え何を感じたのか？
3. 評価：この経験の何がよくて何がよくなかったのか？
4. 分析：この状況から何が分かるのか？
5. 結論：ほかに何ができたか？
6. 行動計画：もう一度そのことが起こったら、どうするか？

省察的实践（リフレクティブプラクティス）の展開方法
～Kolbの経験学習サイクルとGibbsのリフレクションの問いを用いて～

この比は何を
意味しているのでしょうか？

7 : 2 : 1

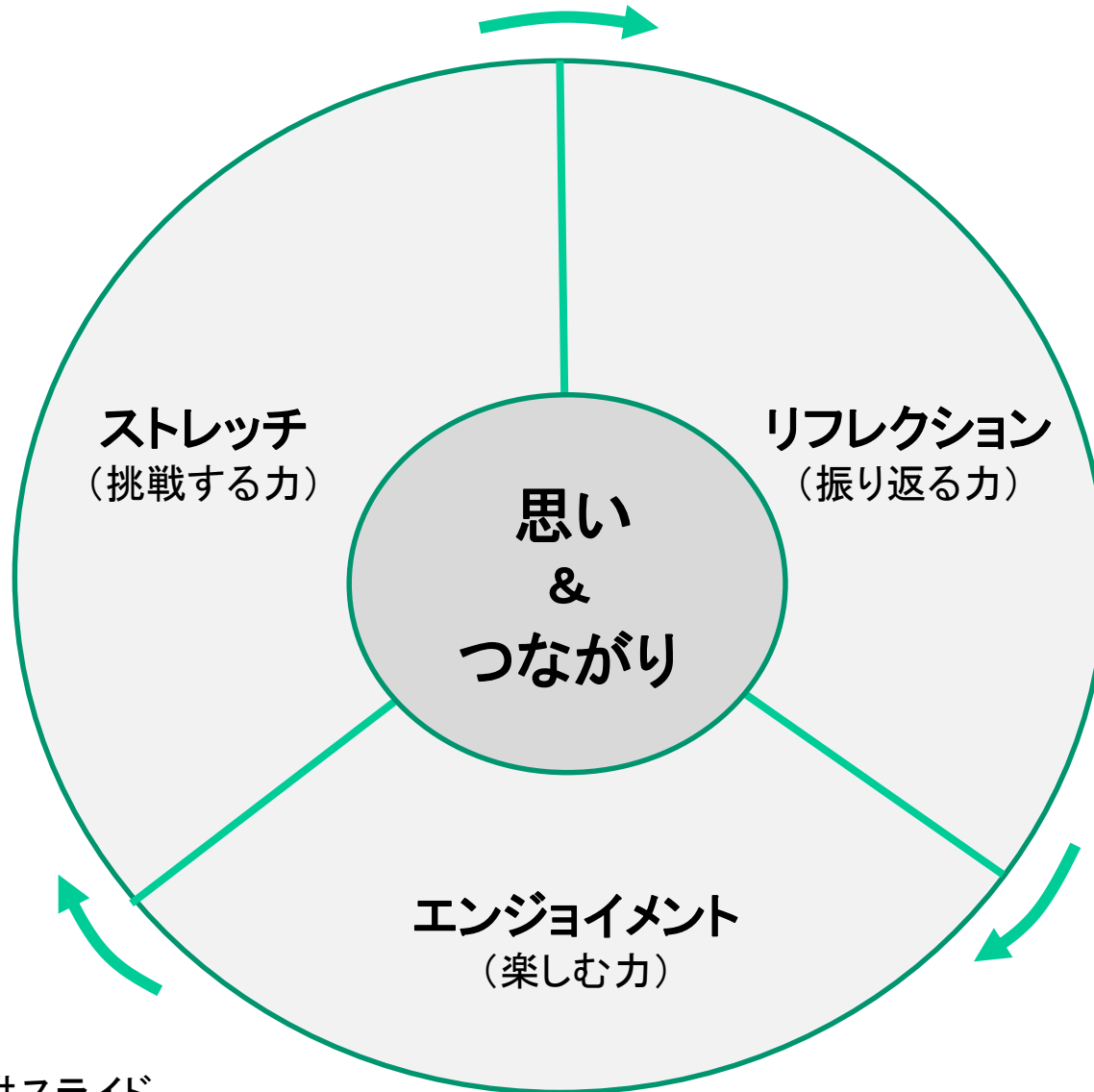
仕事経験
から学ぶ

他者から
学ぶ

研修・書籍
等から学ぶ

経験から学ぶ力のモデル

出典：松尾睦、職場が生きる 人が育つ「経験学習入門」、(ダイヤモンド社)



【なんてったって♥ココがコア】

10. おったまげ

保健師の〇〇と〇〇

泉のごとく。

保健師としての
自信と誇りが
あふれだす！

看護師等の人材確保の促進 に関する法律

(国及び地方公共団体の責務)

- 第四条 国は、看護師等の養成、研修等による資質の向上(略)努めなければならない。

(病院等の開設者等の責務)

- 第五条 病院等の開設者等は、(略)新たに業務に従事する看護師等に対する臨床研修その他の研修の実施、看護師等が自ら研修を受ける機会を確保できるように(略)努めなければ・・

(看護師等の責務)

- 第六条 看護師等は、保健医療の重要な担い手としての自覚の下に、高度化し、かつ、多様化する国民の保健医療サービスへの需要に対応し、研修を受ける等自ら進んでその能力の開発及び向上を図るとともに、**自信と誇りを持って**これを看護業務に発揮するよう努めなければならない。

自信と誇りを持って
仕事をしてください。

【願い】



公衆衛生とは

- 公衆とは
社会一般の人々（広辞苑）
- 衛生とは
長与専斎「**生命**」「**生活**」「**生きる権利（人権）**」を**衛**る

丸山博：「**生存**」：「**生命**」「**生活**」「**生産**」を**衛**る

人間がより人間らしく生きられるための「生」を衛るのが衛生であり、
基本的人権を衛るのが使命である。



OPEN 2021

* **保健師は公衆衛生のフロントランナー！**

* **ともに歩み続けよう！**

* **ご清聴ありがとうございました。**



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

* **ご意見、ご感想などお気軽にメールください**
reiko@sahs.med.osaka-u.ac.jp